

平成25年度

施策マネジメント評価結果



平成25年10月

小金井市

目 次

1	施策マネジメントの目的	P. 2
2	評価対象施策及び事務事業	P. 2
3	評価方法	P. 2
4	最終評価分野別集計表	P. 3
5	評価結果一覧表	P. 4
6	シートの見方	P. 9
7	施策評価シート	
	➤ 環境と都市基盤	P. 1 1
	➤ 地域と経済	P. 2 2
	➤ 文化と教育	P. 3 2
	➤ 福祉と健康	P. 4 3
	➤ 計画の推進	P. 5 5

1 施策マネジメントの目的

(1) PDCAサイクルの定着

施策マネジメントは、「施策の課題」を認識するためのツールであり、施策のPDCAサイクルを通じて、施策及び事務事業の不断の見直しを行う仕組みを確立し、効果的・効率的な行財政運営の実現を目指します。

(2) 施策の着実な推進

第4次基本構想・前期基本計画（以下、「小金井しあわせプラン」という。）の目標に対して、現状及び進捗状況などを「見える化」することにより、その事業が施策を推進する上で貢献できているのか等を検証し、施策の着実な推進を図ります。

(3) 目標や課題の共有化

施策の目標や抱える課題を組織で「共有化」することにより、小金井しあわせプランを再認識・再確認するとともに、施策の方向性に沿った事業展開を図ります。

2 評価対象施策及び事務事業

施策マネジメントは、施策評価と事務事業評価の2段階で評価しています。

<施策評価> 全48施策

小金井しあわせプランの重点プロジェクトに該当する施策が評価対象です。

<事務事業評価> 全68事業

上記、重点プロジェクトに該当する施策に位置付けられた事務事業（小金井しあわせプランの「主な事業」）が評価対象です。

○評価対象施策及び事務事業数

	環境と都市基盤	地域と経済	文化と教育	福祉と健康	計画の推進	合計
施策数	11	10	11	12	4	48
事務事業数	20	10	15	16	7	68

3 評価方法

まず、事務事業評価を行い、その結果を受けて施策評価を行います。

事務事業評価については、「主な事業」の担当課が、成果活動指標（小金井しあわせプランで設定されている平成27年度までに達成すべき指標及び活動）の達成状況、事業の進捗状況、効率性それぞれについて、自己評価をしています。また、その評価を踏まえて、平成27年度の成果活動指標の達成に向けた今後の展開及び事業実施における課題点を示しています。

施策評価については、平成24年度の事務事業評価の結果を受けて、施策の総括担当（重点プロジェクトに該当する「主な事業」の担当課又は庶務担当課）が一次評価をしています。最終評価については、その事務事業評価及び一次評価を踏まえて、市として

の今後の方向性及び事業を進める上での課題を記載しています。

この最終評価結果は、実施計画へ反映することにより予算との連動を図ります。「主な事業」の担当課は、示された課題を十分に踏まえて事業を見直しし、次年度以降の事業計画及び予算編成を行うものとします。

4 最終評価分野別集計表

最終評価	環境と都市基盤		地域と経済		文化と教育		福祉と健康		計画の推進		合計	
	施策数	構成比	施策数	構成比	施策数	構成比	施策数	構成比	施策数	構成比	施策数	構成比
A	2	18.2%	3	30.0%	3	27.3%	5	41.7%	0	0.0%	13	27.1%
B	8	72.7%	5	50.0%	7	63.6%	5	41.7%	3	75.0%	28	58.3%
C	1	9.1%	2	20.0%	1	9.1%	2	16.6%	1	25.0%	7	14.6%
合計	11	100.0%	10	100.0%	11	100.0%	12	100.0%	4	100.0%	48	100.0%

<最終評価の評価基準>

「A」…**推進**（指標の達成が順調であり、施策への貢献度も高い事業である。）

「B」…**一部課題あり**（事業としては推進していく方向だが、見直しが必要な課題がある。）

「C」…**課題あり**（事業実施にあたって、方向性の転換や根本的に見直しが必要な課題がある。）

（参考）

<事務事業評価の評価基準>

●指標

「A」…指標を達成している。

「B」…指標の達成に向け事業は実施している。

「C」…指標を大きく下回る。

「-」…指標が不明又は指標が測れない。

●事業進捗

「A」…事業進捗は計画どおりである。

「B」…計画より遅れているが、事業は進捗している。

「C」…事業が計画より大きく遅れている。

●効率性

「A」…経費節減に寄与している。

「B」…経費節減の努力はしているが、効果が上がっていない。節減の余地がない。

「C」…経費節減の具体的な取組を検討していない。

5 評価結果一覧表

1 みどりあふれる快適で人にやさしいまち【環境と都市基盤】★評価対象 11 施策 20 事業

柱	施策	コード	最終評価	事務事業評価(自己評価)					※参考		
				事業名	担当課	24年度			23年度		
						指標	事業進捗	効率性	指標	事業進捗	効率性
みどりあふれる快適で人にやさしいまち【環境と都市基盤】	みどりを育む仕組みづくり	A01-01	A	花壇ボランティア、環境美化サポーター制度などの充実	環境政策課	A	A	B	A	A	B
	みどりの保全	A01-02	B	緑の基本計画によるまとまったみどりの保全	環境政策課	B	B	B	B	B	B
	みどりの創出	A01-03	B	東小金井駅北口の公園整備	区画整理課	B	B	B	B	A	B
				小長久保公園の整備	環境政策課	A	A	B	A	A	B
				都市計画道路の緑化	道路管理課	B	B	B	B	B	B
	循環社会の形成	A02-05	B	ごみ削減ノウハウ集の作成	ごみ対策課	A	A	B	A	A	B
				有機性資源の循環システムの構築	ごみ対策課	A	A	B	A	A	B
	ごみの処理	A02-06	B	可燃ごみ処理体制の確立	ごみ処理施設担当	B	A	B	B	C	B
				中間処理場の再整備	中間処理場担当	B	B	B	B	B	B
	地球環境への負荷の軽減	A03-09	B	省エネルギー施設助成事業の実施	環境政策課	B	A	B	B	A	B
				(仮称)エコ・モデルハウスの整備	環境政策課	B	B	B	B	B	A
	まちの顔となる駅周辺の整備	A04-11	B	JR中央本線連続立体交差事業の推進	都市計画課	B	B	B	B	B	B
				武蔵小金井駅南口市街地再開発事業の推進	まちづくり推進課	B	A	B	B	B	B
				東小金井駅北口土地区画整理事業の推進	区画整理課	B	B	B	B	B	B
	魅力的な市街地	A04-12	B	地区計画の推進	まちづくり推進課	B	A	B	B	A	B
	良質な住宅の供給	A05-13	A	高齢者自立支援住宅改修給付事業の充実	介護福祉課	A	A	B	A	A	B
道路の整備	A06-18	B	整備中の都市計画道路の整備(3・4・3号線、3・4・12号線、3・4・14号線)	都市計画課 道路管理課	B	B	B	B	B	B	
			未着工の都市計画道路の整備(3・4・1号線、3・4・8号線)	都市計画課 道路管理課	B	B	B	B	B	B	
			JR中央本線連続立体交差事業側道整備	都市計画課 道路管理課	B	B	B	B	B	B	
公共交通機関の整備	A06-20	C	駐輪場の整備	交通対策課	-	A	A	-	A	B	

2 ふれあいと活力のあるまち【地域と経済】★評価対象 10 施策 10 事業

柱	施策	コード	最終評価	事務事業評価(自己評価)					※参考		
				事業名	担当課	24年度			23年度		
						指標	事業進捗	効率性	指標	事業進捗	効率性
ふれあいと活力のあるまち【地域と経済】	協働のまちづくりの推進	B07-22	B	(仮称)市民協働支援センターの整備	コミュニティ文化課	-	B	B	-	B	B
	地域情報ネットワークの推進	B07-23	C	コミュニティポータルサイト拡充の支援	情報システム課	C	C	B	C	C	B
	防災コミュニティづくり	B08-25	A	自主防災組織の育成	地域安全課	A	A	B	A	A	B
	防犯体制の強化	B08-27	A	こがねいし安全・安心あいさつ運動の充実	地域安全課	A	A	B	A	A	B
	産業基盤の整備	B09-29	B	ベンチャー・SOHO事務所の整備	経済課	A	B	B	A	B	B
	創造的産業の支援	B09-30	B	農工大・多摩小金井ベンチャーポート家賃補助の継続	経済課	A	A	B	A	A	B
	商業環境の整備	B10-32	B	商店街振興モデル地区の推進	経済課	-	A	A	-	A	A
	魅力ある商業・商店街づくりの推進	B10-33	C	黄金井名物マップの整備 (コミュニティポータルサイト内)	経済課	A	C	B	A	C	B
	地域資源をいかした観光の推進	B10-35	B	桜まつりなどの充実 ※桜まつり、阿波おどり大会、お月見のつどい	経済課	B	A	A	C	A	B
	農業との交流促進	B12-38	A	市民農園・体験農園の拡充	経済課	A	A	A	A	B	A

3 豊かな人間性と次世代の夢を育むまち【文化と教育】★評価対象 11 施策 15 事業

柱	施策	コード	最終評価	事務事業評価(自己評価)					※参考		
				事業名	担当課	24年度			23年度		
						指標	事業進捗	効率性	指標	事業進捗	効率性
豊かな人間性と次世代の夢を育むまち【文化と教育】	文化施設の効率運営	C15-43	B	はげの森美術館の企画展などの充実	コミュニティ文化課	B	A	A	B	A	A
				市民交流センターの活用	コミュニティ文化課	A	A	B	A	A	B
	文化交流の推進	C15-44	B	国際交流事業の充実	コミュニティ文化課	A	A	B	A	A	B
	人権・平和に関する施策の推進	C16-45	B	非核平和事業・人権啓発事業の充実	広報秘書課	A	A	B	A	A	B
	男女共同参画の推進	C16-46	B	(仮称)男女平等推進センター整備の検討	企画政策課	B	B	B	B	B	B
	活動の場の充実	C17-48	B	中央図書館の整備	図書館	B	B	B	A	A	B
				(仮称)公民館貫井北分館・(仮称)図書館貫井北分室の整備	公民館	B	A	B	A	A	B
	生涯学習活動の推進	C17-49	A	放課後子ども教室の拡充	生涯学習課	A	A	B	A	A	B
	スポーツ・レクリエーション活動の支援	C18-50	B	スポーツ教室・スポーツ大会の充実	生涯学習課	B	B	B	B	B	B
	スポーツ・レクリエーション施設の活用	C18-51	B	総合体育館の整備	生涯学習課	A	A	A	A	A	A
	教育内容・教育方法の充実	C19-53	A	教職員の研究・研修の充実	指導室	A	A	A	-	A	A
				児童生徒によるボランティア活動の充実	指導室	B	A	A	B	A	A
	学習環境の整備・充実	C19-54	C	市立小・中学校の校庭芝生化の推進	庶務課	A	A	B	A	A	B
				パソコン教室の整備	学務課	B	C	B	B	C	B
	家庭と地域の共同教育の推進	C20-55	A	子育て支援ネットワークへの幼稚園の参加促進	子育て支援課	A	A	A	A	A	A

4 誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち【福祉と健康】★評価対象 12 施策 16 事業

柱	施策	コード	最終評価	事務事業評価(自己評価)					※参考		
				事業名	担当課	24年度			23年度		
						指標	事業進捗	効率性	指標	事業進捗	効率性
誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち【福祉と健康】	地域福祉の推進	D21-57	C	福祉会館の整備	地域福祉課	B	B	B	B	B	B
	高齢者の活躍の場づくり	D22-59	B	高齢者いきいき活動の推進	介護福祉課	A	A	B	A	A	B
	高齢者の生活支援	D22-60	B	認知症高齢者の支援	介護福祉課	A	B	B	A	B	B
	介護予防事業の充実	D22-61	A	介護予防事業プログラムの充実	介護福祉課	A	A	B	A	A	B
	介護保険事業の充実	D22-62	B	地域に密着したサービスの基盤整備	介護福祉課	B	B	A	B	B	A
	子育て支援	D23-63	C	一小・南小地区児童館の整備	児童青少年課	A	C	B	A	C	B
	子育て家庭の支援	D23-64	B	けやき保育園・ピノキオ幼児園の移転	保育課	C	B	B	C	B	B
				定員増に向けた学童保育所の整備	児童青少年課	A	A	A	A	A	A
				母子自立支援プログラム策定事業の充実	子育て支援課	A	A	A	A	A	A
				発達支援センターの整備	自立生活支援課	B	A	A	B	A	A
	地域の子育て・子育て環境の充実	D23-65	A	子育て支援ネットワークの充実	子育て支援課	A	A	A	A	A	A
	ノーマライゼーションの推進	D24-66	A	障害者就労支援センター事業の充実	自立生活支援課	A	A	B	A	A	B
	日常生活の支援	D24-67	A	サービス供給体制の充実	自立生活支援課	A	A	B	A	A	B
	保健活動の充実	D25-69	B	がん検診の充実	健康課	B	A	B	B	A	B
医療体制の充実	D25-70	A	休日・休日準夜診療の継続	健康課	A	A	B	A	A	B	
			武蔵野赤十字病院との小児救急医療の協力関係の継続	健康課	A	A	B	A	A	B	

基本構想実現のために【計画の推進】★評価対象 4 施策 7 事業

柱	施策	コード	最終評価	事務事業評価(自己評価)					※参考		
				事業名	担当課	24年度			23年度		
						指標	事業進捗	効率性	指標	事業進捗	効率性
基本構想実現のために【計画の推進】	市民ニーズの把握と共有化	E26-72	B	市民意向調査の充実	企画政策課	B	B	B	A	B	B
	市民参加の推進	E26-74	B	審議会などの公募市民の拡充	企画政策課	A	A	A	A	B	A
	市民協働の推進	E26-75	B	市職員への市民協働研修の充実	コミュニティ文化課	B	A	A	A	A	B
	計画とマネジメントの整備	E28-79	C	新庁舎の建設	企画政策課	-	B	B	-	B	B
				施策マネジメントの実施	企画政策課	-	C	B	-	C	B
				後期基本計画の策定	企画政策課	-	B	B	-	B	B
				実施計画の策定	企画政策課	-	B	B	-	B	B

6 シートの見方

施策評価シート

1 施策の基本情報

施策名	計画とマネジメントの整備	E28-79	総括担当 ①
施策分野	計画的行政	E28	企画政策課
施策の方向性	基本構想に基づいた総合的かつ計画的な市政運営を推進するため、施策の具体化とその実現方法を明らかにする「基本計画」、その事業と財政の裏づけを明らかにする「実施計画」を策定する。そして、「施策マネジメント」において、施策及び事務事業の不断の見直しを行い、計画の目標達成を目指す。また、新庁舎の建設や施設整備等を計画的に推進する。		関連課 ②
			企画政策課

2 施策を構成する主な事業の評価 (事務事業評価シートより)

事業名	成果活動指標	評価					
		H23	H24	H25	H26	H27	
新庁舎の建設	第4次基本構想・前期基本計画の目標達成率	指標 ③	-	-			
		事業進捗 ④	B	B			
		効率性 ⑤	B	B			
施策マネジメントの実施	第4次基本構想・前期基本計画の目標達成率	指標	-	-			
		事業進捗	C	C			
		効率性	B	B			
後期基本計画の策定	第4次基本構想・前期基本計画の目標達成率	指標	-	-			
		事業進捗	B	B			
		効率性	B	B			
実施計画の策定	第4次基本構想・前期基本計画の目標達成率	指標	-	-			
		事業進捗	B	B			
		効率性	B	B			

3 施策を構成する主な事業の事業費

(単位:千円)

事業名	予算名称 ⑥	担当課	H23 (決算)	H24 (決算)	H25 (予算)	H26 (予算)	H27 (予算)
新庁舎の建設	新庁舎建設に要する経費	企画政策課	7,679	5,454	0		
施策マネジメントの実施	-	企画政策課	-	-	-		
後期基本計画の策定	-	企画政策課	-	-	-		
実施計画の策定	-	企画政策課	-	-	-		

4 一次評価 ⑦

・施策の推進は、指標からは把握できないが、施策マネジメントの実施が遅れていたため、進捗管理についてやや課題がある。施策マネジメントについては、計画的行政にはかかせない仕組みであり、今後、本格実施に向けてスピード感をもって取り組む必要がある。
 ・新庁舎の建設については、平成24年度に基本計画を策定したためそのスケジュールに沿って進めることとなるが、一般財源の負担を極力抑えるため、あらゆる方策による財源の確保に努める。
 ・後期基本計画の策定については、評価方法を踏まえた成果活動指標の見直しが必要である。また、施策体系を整備し、基本計画の事務事業、予算の事務事業、評価の事務事業を統一させることが課題である。
 ・実施計画については3年ごとのローリングで策定しているが、財政状況を勘案して、適宜見直しを行う必要がある。

5 最終評価 ⑧

評価	(特記意見)
C	新庁舎の建設については、市有地の資産活用等を含めあらゆる方策による財源の確保を考慮に入れた事業展開を図りたい。
A・・・推進 B・・・一部課題あり C・・・課題あり	(課題) 施策マネジメントについては実施が計画より遅れているため、平成25年度の試行実施の結果を受け、本格実施に向けて早急に検証に取り組む必要がある。実施計画については、歳入歳出の乖離が埋まらない状況であるが、厳しい財政状況の中でも、将来像の実現に向けてやるべき施策は積極的に推進していく必要がある。

⑥【予算名称】

主な事業に係る予算の名称を記載しています。予算が他の事業も含んでいる場合には、「〇〇に要する経費(一部)」としています。主な事業に係る予算がない場合には「-」としています。

⑦【一次評価】(総括担当課による自己評価)

○施策の進捗状況の評価

前期基本計画では、成果活動指標の達成度合いが、施策の進捗の目安であるとの考え方であるため、主な事業の評価を踏まえて、施策の進捗を評価しています。

○施策への有効性・貢献度

主な事業が施策を推進する上で貢献しているのか、有効に機能しているのかという点で評価しています。

⑧【最終評価】

施策を構成する主な事業の評価(自己評価)と一次評価(自己評価)を踏まえ、市としての最終評価をしています。

A・・・推進(指標の達成が順調であり、施策への貢献度も高い事業である。)

B・・・一部課題あり(事業としては推進していく方向だが、見直しが必要な課題がある。)

C・・・課題あり(事業実施にあたって、方向性の転換や根本的に見直しが必要な課題がある。)

①【総括担当】

施策の中で重点プロジェクトに該当する主な事業の担当課(又は庶務担当課)が施策評価シートの総括をしています。

②【関連課】

施策を構成する主な事業の担当課

③【指標】

A・・・指標を達成している。
 B・・・指標の達成に向け事業は実施している。
 C・・・指標を大きく下回る。
 -・・・指標が不明又は指標が測れない。

④【事業進捗】

A・・・事業進捗は計画どおりである。
 B・・・計画より遅れているが、事業は進捗している。
 C・・・事業が計画より大きく遅れている。

⑤【効率性】

A・・・経費節減に寄与している。
 B・・・経費節減の努力はしているが、効果が上がっていない。節減の余地がない。
 C・・・経費節減の具体的な取組を検討していない。

事務事業評価シート

【基本情報】

施策	計画とマネジメントの整備	第4次基本構想・前期基本計画の目標達成率	重点プロジェクト	3
基本事業	E28-79 成果活動指標 E28-79200 事業概要	目的(何のために) 実施方法(何をやるか)	第4次基本構想の将来像を実現するために、重点政策などに基づく重点プロジェクトを設定し、施策分野別に現況と課題を明らかにして施策を具体化・体系化する基本計画を策定する。 長期計画審議会、ワーキンググループ、市民フォーラム等の市民参加の手法を取り入れ、市民の意見等を反映させた計画を策定していく。また、策定本部、専門部会、策定研究会等の庁内組織を設置し、全庁あげて策定に取り組んでいく。	5
2	主な事業 後期基本計画の策定	関連する法令・計画等	なし	担当課 企画政策課

【「主な事業」に対する評価等】

計画(Plan)		実施(Do)		評価(Check)		
7	8	9	10	11	12	
成果活動指標	事業進捗	指標結果	実施経過・結果	指標	事業進捗	
23年度	-	-	計画策定年度ではない。 計画策定年度ではない。	-	B	評価の説明 ○指標結果は、基本計画の進捗状況を確認していないため把握していない。 ○計画策定年度ではないため具体的な事業は実施していないが、前期基本計画の進捗状況の確認のため、施策マネジメントの検討を行った。 ○具体的な効果はないが、基本方針を検討していく中で、策定経費の効率化に努めている。
24年度	20%	-	計画策定年度ではない。	-	B	評価の説明 ○指標結果は、基本計画の進捗状況を確認していないため把握していない。 ○計画策定年度ではないため具体的な事業は実施していないが、前期基本計画の進捗状況の確認のため、施策マネジメントの試行実施に向けて検討を行ったが、実際に至らなかった。 ○具体的な効果はないが、基本方針を検討していく中で、策定経費の効率化に努めている。
25年度	40%	-	後期基本計画策定に係る基本方針・スケジュール等の検討を行い、庁内の策定本部において、基本方針等を決定する。 ・後期基本計画策定にあつた際の基礎資料の収集及び市民意向調査の実施 ・庁内組織として、専門部会、策定研究会を設置し、市民参加を踏まえて基本計画の検討を行う。	-	B	評価の説明 ○展開 後期基本計画の計画期間は、28年度から32年度であるため、平成26年度から2年間で策定する。 平成25年度は、庁内の策定本部において計画の基本方針等を決定する。 平成26年度は、基礎資料の収集(ワーキンググループの作成)及び市民意向調査を実施し、その後、市民参加による計画策定を開始する。市民参加の手法として、長期計画審議会、ワーキンググループ、市民フォーラム等を実施する。 策定に係る経費については、多様な市民参加の手法を入れつつ、期間も短期間で策定し、効果的かつ効率的に行うよう努める。 ○課題 後期基本計画を策定するためには、前提として前期基本計画の総括が必要となることから、総括するための基礎資料を収集するためには、「施策マネジメント」の確立が必須となる。よって、「施策マネジメント」を実施する中で、表面化した課題を分析し、後期基本計画策定の際に活用していく。
26年度	60%	検討	前年度に引き続き計画策定を行う。	-	B	評価の説明 ○展開 後期基本計画を策定するためには、前提として前期基本計画の総括が必要となることから、総括するための基礎資料を収集するためには、「施策マネジメント」の確立が必須となる。よって、「施策マネジメント」を実施する中で、表面化した課題を分析し、後期基本計画策定の際に活用していく。
27年度	80%	実施	前年度に引き続き計画策定を行う。	-	B	評価の説明 ○展開 後期基本計画を策定するためには、前提として前期基本計画の総括が必要となることから、総括するための基礎資料を収集するためには、「施策マネジメント」の確立が必須となる。よって、「施策マネジメント」を実施する中で、表面化した課題を分析し、後期基本計画策定の際に活用していく。

⑪【指標】※成果活動指標に対する評価
A・・・指標を達成している。
B・・・指標の達成に向け事業は実施している。
C・・・指標を大きく下回る。
一・・・指標が不明又は指標が測れない。

⑫【評価の説明】
指標、事業進捗、効率性等それぞれについて、その評価にした説明を記載しています。

⑬【評価を踏まえた今後の展開】
評価を踏まえた次年度以降の展開及び事業実施における課題点を記載しています。

【効率性】※事業実施に際して経費節減に努めたか。
A・・・経費節減に寄与している。
B・・・経費節減の努力はしているが、効果が上がっていない。節減の余地がない。
C・・・経費節減の具体的な取組を検討していない。

①【成果活動指標】
前期基本計画で設定されている平成27年度までに達成すべき指標及び活動

②【主な事業】
施策を推進するため前期基本計画に位置付けられている事業

③【重点プロジェクト】
「主な事業」が、前期基本計画の重点プロジェクトに該当する場合は、そのプロジェクト名称を記載しています。

④【関連する法令・計画等】
「主な事業」の実施に係る根拠となる法律、条例、要綱、計画等がある場合に、その名称等を記載しています。

⑤【担当課】
「主な事業」の担当課

⑥【成果活動指標】
前期基本計画で平成27年度の達成すべき指標が設定されていますが、平成24～26年度については指標の設定がなかったため、今回新たに年度ごとの指標の数値目標を記載しています。
※現状と目標を考慮した上で、均等に按分するなどして数値目標を設定しています。

⑦【事業進捗】
前期基本計画で設定されている「主な事業」の進捗目標

⑧【具体的取組内容】
「主な事業」を進めていく上での、年度ごとの具体的な取組内容の計画を記載しています。

⑨【指標結果】
成果活動指標の年度ごとの結果
※指標が毎年把握できないものについては「-」としています。

⑩【実施経過・結果】
計画の具体的取組内容に対して、実際に取り組んだ実施及び結果